

第 66 回板橋区資源環境審議会

板橋区環境基本計画 2035 素案（案）に関する主なご意見と対応について

	意見要旨	対応
1	指標について、良い指標は含まれているが、計画の理念達成を測るには工夫の余地がある。部局横断的な指標の設定も必要と思われる	指標について、各指標設定の理由について指標の前に説明を追記した。また、注釈部分の補足を行った。 (P.32.43.49.55.61.70) また、P.43 基本目標 2（気候変動適応）について、新たに「区内における熱中症搬送者数」を指標に追加した。
2	基本目標 5 について、生物多様性の生物調査の指標数値が上がっているかどうかなどについてあってもよいと思われる。	動植物の個体数の指標化については、令和 6 年度に実施した生物多様性基礎調査は「悉皆調査」ではなく「標本調査」であり、個体数の把握の精度を高める必要があると考える。そのため、現段階での指標化は見送り、今後継続調査を重ねるうえで検討していく。これらを踏まえ、P61 部分に説明を追記した。
3	30by30 のことについて考え方が示されていないため、記載の検討をしてほしい。	P.10 第 2 章 環境の現状と課題 1 国内外の動向（5）の部分に、30by30 について内容を追記した。
4	将来像について、「GO GREEN」が受けとられるイメージとして、自然だけをめざさない所以需要である。	P.20 将来像の説明部分で、GO GREEN について「環境にやさしい」という説明を追記した。
5	循環経済（サーキュラーエコノミー）について記載が弱いと感じる。循環経済に関する指標設定も検討したほうがよいのではないかな。	P50 ②ごみの発生抑制・資源循環の推進において、「循環経済を見据え」という文言を追記し、P.52 にサーキュラーエコノミーについてコラムを追記した。 指標については、循環経済は、資源投入量の抑制、製品の長寿命化、シェアリング、再生材利用など多面的な要素を含む概念であり、区レベルでの循環経済の進捗を測定する

		ための信頼性の高いデータ収集体制が整っていないため、現時点では指標として設定しないこととした。循環経済への移行は重要な政策課題と認識しており、指標設定については引き続き研究を進めてまいります。
6	3Rについて、特にリデュース・リユースの2Rが重要となるので、そこを強調したメッセージを入れてほしい。	P.50 ①区民生活における3Rの推進の冒頭に、「発生抑制（リデュース）や～」の文章を追記した。
7	P.34 スマートシティのコラムで浜松市のグリッド8などの事例を入れたもよいのでは。	P.36 スマートシティのコラムにおいて、浜松市の取組について記載した。
8	騒音振動や喫煙について、建設現場からの騒音などは土木部と連携必要と思うため、具体的なアクションは記載しないと思うが、土木部との連携なども記載があってもよいのでは。 ・喫煙についても、公園などは吸っている場合は所管を超えた連携も必要になると思うがいかがか。ここも記載があってもよいのでは？	P.22 基本目標の全体の説明部分で、「環境課題は分野を超えた複合的な対応が必要なため、関係部署と連携して組織横断的に取り組みます」と内容を追記した。

【その他の主な修正箇所】

該当部分	修正内容
P.11、12	2 板橋区のこれまでの取組（前計画の振り返り） ① 計画全体の総括 自然環境部分について、所管課と調整のうえ内容修正
P.58	緑被率の数値を令和6年度調査の実績に修正
P.64	地域の自然に親しみ育む場・機会づくりの内容について、所管課と調整のうえ内容修正
P.66	「生物多様性に配慮した製品」について、コラムを追記